

2024年10月7日発行

トップアスリートに

聞く!

スピードと技で体格差を補い  
日本人初の金メダルを獲得

加納虹輝選手  
フェンシング男子日本代表  
日本航空株式会社

持ち味のスピードを生かし  
技を磨いて自分の武器に

パリオリンピックのフェンシング男子エペ個人で日本勢初となる金メダルを獲得した加納虹輝選手。決勝戦について「相手には以前の試合で負けていました。でも今回は、2点目を取ったときに『これは行ける!』と感じたんです」と振り返ります。東京オリンピックにも出場しましたが15位でした。どうしてパリでは金メダルを勝ち取ることができたのでしょうか?

フェンシングにはフルール、エペ、サーブルの3種目があり、剣の形や得点となる有効面などの違いがあります。エペは、頭からつま先まで体のあらゆる面への攻撃が可能です。一般的に長身

で手足が長い欧米の選手が有利と言われてきました。しかし加納選手は「僕はフットワーク(足の動き)を使ったスピードだけでなく、剣を扱うアームワーク(腕の動き)のスピードにも自信がありました。それを磨くことができれば、相手の剣を払ったり、相手の腕が伸びてくる前に突いたりすることができて大きな武器になると考えました」と、スピードと技で体格差を補う努力を重ね、2度目のオリンピックで頂点に立つことができたのです。

フェンシングが好きだから  
努力することができた

オリンピック金メダリストとなった加納選手ですが、「中学のときは負けてばかりでした。でもフェンシングが好きだったから、努力することができました。そうして楽しみながら頑張っていたら、コーチが手を差し伸べてくれたり、応援やサポートしてくれる方がいたり。そのおかげ

で力をつけていくことができました」と言います。

さらに「フェンシングを始めてから今までもっと本心にこらえられてきました」と感謝の言葉を口にします。フェンシング競技を指導してくれた方々への思いも込めて挑戦したオリンピックは応援して支えてきた人にとってもうれしい金メダルとなりました。



フェアプレー宣言書を読みました



スマホやタブレット端末をかざして、加納虹輝選手からのフェアプレーメッセージ動画をチェック!

★左上に出てくる「タップしてスタンプをゲット」をタップしてスタンプラリーに参加。年に9回発行されるすべての「フェアプレーニューススタンプ」を集めてオリジナルフォトフレームをゲットしよう!

【答えに】

写真: AFP/アフロ



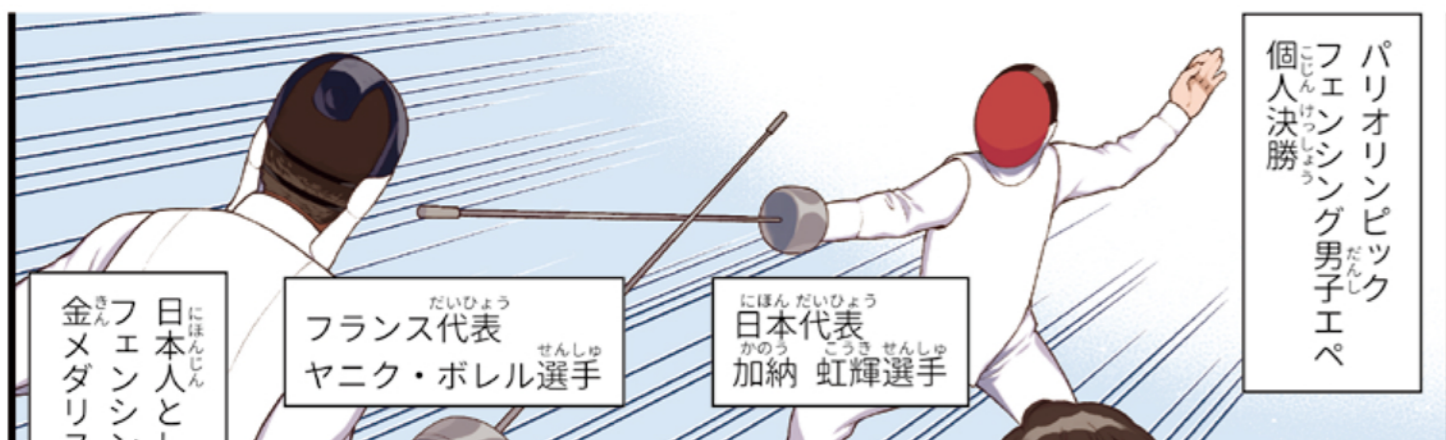
2度目のオリンピック挑戦でフェンシング男子エペ個人で日本人初となる金メダルを獲得した

フェアプレーストーリー

負けた相手をたたえる心に感動

フェンシング

加納虹輝選手



パリオリンピックフェンシング男子エペ個人決勝

日本代表  
加納 虹輝選手

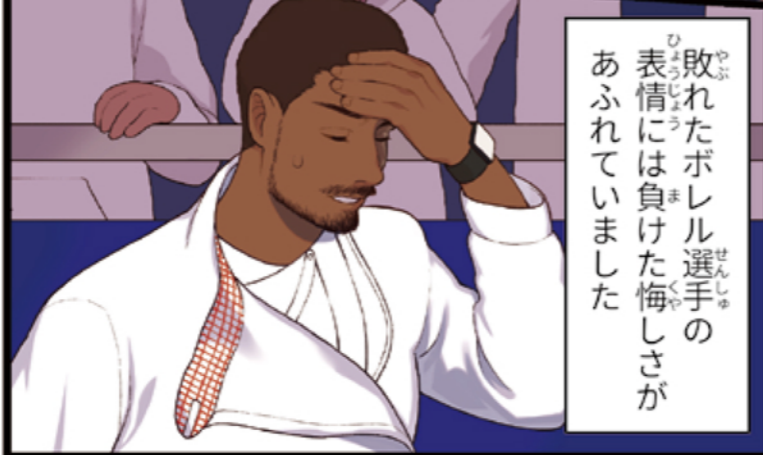
フランス代表  
ヤニック・ボレル選手

日本人としては初めて  
フェンシング個人種目の  
金メダリストとなりました

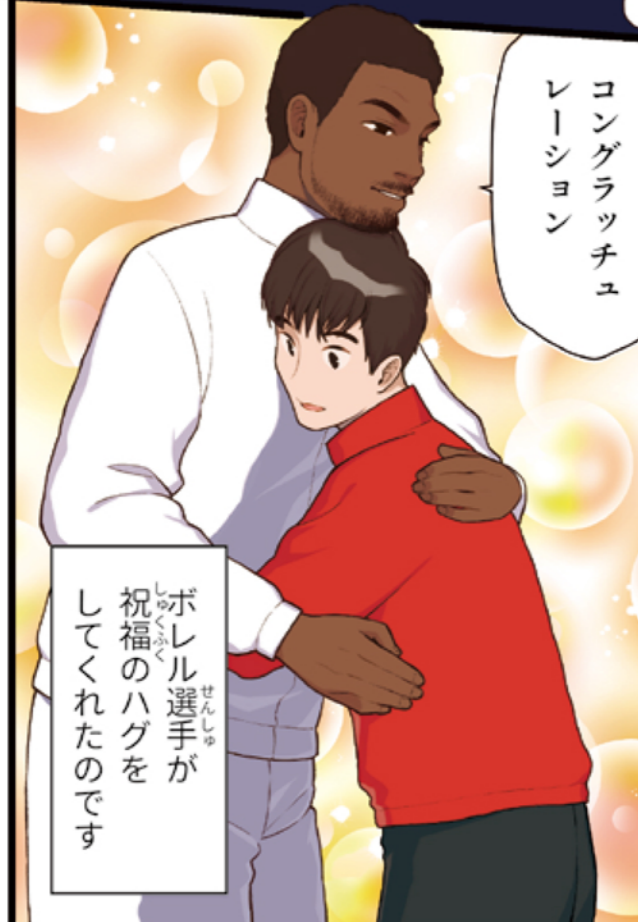
3:00  
15:4:09



敗れたボレル選手の表情には負けた悔しさがあふれていました



コングラチュレーション



ボレル選手が祝福のハグをしてくれたのです



試合後に更衣室で...



地元で負けてとても悔しいはずなのに、対戦相手を祝福できるのは紳士だよ

僕もこうしたいことができるよ。つなぐ人間になりたいな



今回の活躍を見てフェンシングを始める子どもが増えるかもしれません



一緒に遠征に行けたら楽しそうですね

フェアプレーニュースとフェアプレー宣言はJSPOのキャンペーンホームページでチェック!



フェアプレーキャンペーンTOPページ

フェアプレーニュース

フェアプレー宣言

見たいニュースを見つけたい宣言「宣言する」をクリックしてね

日本スポーツ協会 検索



スマホやタブレット端末を活用。新しくなった「フェアプレーニュース」の詳しい使い方や注意点は、こちらから



フェアプレーニュース 第162号  
2024年10月7日発行(次回は2024年11月11日発行予定です)  
フェアプレーニュースは、スポーツ振興くじの助成を受けて制作・配送をしています。  
企画: JSPO(公益財団法人日本スポーツ協会) https://www.japan-sports.or.jp/

